

公務員

難易度	中級～最上級まで
最短学習期間	半年～1年
中大生人気学部	学部問わず
中大生最多学習スタート年次	3年生の3～6月

活躍のフィールド・就職先 官公庁・地方公共団体

WORK CONTENTS

公務員は「全体の奉仕者」として公共の利益のために働くことを使命としています。

民間企業が直接サービスを提供する主な対象は対価を支払った消費者です。しかし、公務員の行う行政サービスの対象は国民や住民全体であり、社会への貢献度が大きいといえます。

また、公務員の仕事のひとつひとつが国民や住民生活に不可欠なものであり、公務員は日々仕事を通じて社会貢献をしています。

公務員の種類 公務員は大きく分けて国家公務員と地方公務員の2種類に大別されます。

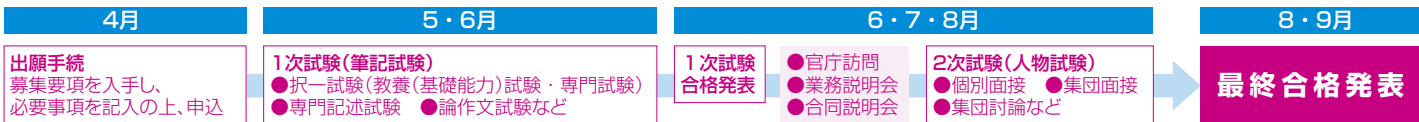
①国家公務員 各省庁や国の機関で働く職員であり、その職種はさまざまなものがあります。

国家公務員	総合職試験	キャリアと呼ばれる将来の幹部コースで、政策の企画・立案または調査・研究に関する事務を行います。試験は法律区分・経済区分・政治・国際区分のほか、幅広い人材を登用するために大学3年次から受験できる「教養区分」があります。
	一般職試験(大卒)	主に事務処理等の定期的な業務に従事する官職として、各省庁や出先機関で政策立案を支えます。事務処理能力を重視した採用試験です。中大生の合格者数が最も多いのもこの試験です。
	専門職試験	外務省専門職員や国税専門官、労働基準監督官など専門的な分野で活躍する国家公務員です。試験もそれぞれ、一般的な公務員試験の問題に加え、各専門分野を踏まえた問題が出題されます。

②地方公務員 各都道府県や市町村単位で採用が行われます。大きく分けて3つに分かれます。

地方公務員	行政事務系職種	都道府県や市役所の上級職(大卒程度)は、自治体の幹部候補として採用される職員です。福祉・教育・環境・産業振興など多彩な分野の仕事に携わります。地元で密着した職場なので、転勤エリアが限られており、人気の高い職種です。
	警察官	都道府県単位で採用が行われます。採用人数も多く人気の職種です。
	消防官	市や広域消防組合ごとに採用が行われます。

採用までの流れ [地方上級・国家一般職(大卒)]



試験科目 [地方上級・国家一般職(大卒)]

■ 択一試験

地方・国家問わず試験科目が多いのが公務員試験の特徴です。出題形式(問題数や必須/選択など)は試験によって異なりますが、概ね以下の表に挙げた科目から出題されます。(専門職試験を除く)早い段階から公務員試験を考えているなら、大学の履修科目も意識して選択するのも有効です。

教養択一試験(基礎能力)科目例

一般知識分野	世界史/日本史/地理/思想/文化史 数学/物理/化学/生物/地学 法律/政治経済/社会
一般知能分野	判断推理/数的推理/空間把握 資料解釈/文章理解(現代文・英文)

専門択一試験科目例

法律系	憲法/行政法/民法/労働法/刑法/商法
経済系	ミクロ経済学/マクロ経済学/財政学/経済政策/経済事情/経済史
政治系	行政学/政治学/社会学/社会事情/社会政策/国際関係
その他	経営学/英語(基礎)/英語(一般)/心理学/教育学

■ 教養論文/専門記述試験

教養論文: 社会や経済問題など、一般的な課題について受験生の考えを手書きで論述する試験です。60～90分程度で800～1200字程度の文章が求められます。専門記述: 東京都や国家公務員専門職など、一部の試験で実施される専門試験です。択一試験の知識をベースに、与えられた課題に論述する形式です。

■ 人物試験

近年、一般企業の就職試験と同様に、公務員試験においてもいわゆる「面接試験」は重要視され、どの試験においても、個別面接は必ず実施されます。志望動機的确立としっかりとした自己分析、教養論文の学習と合わせて予想される討論のテーマに対する準備など、十分な対策が必要です。

ココで合格!

生協取扱スクール一覧

スクール	生協オリジナルセミナー	資格の学校TAC/Wセミナー	資格の大原	伊藤塾	クリアール	LEC東京リーガルマインド	EYE	実務教育出版
公務員	通学	通学/通信	通学/通信	通学/通信	通信	通学/通信	通学/通信	通信